

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和元年度第6回 岩舟地域会議
開催日時	令和元年9月18日 18時00分 開会 18時47分 閉会
開催場所	岩舟総合支所 会議室棟 第1会議室
出席者氏名	海老沼圭子、川原井正敏、小林香代子、時田宣久、永島勇、広瀬昌子、永島仁一、佐山美幸、安藤芳雄、斉藤栄吉、高久厚子、相良香津子、瀬下敏明、森田鉄夫 以上14名
欠席者氏名	永田昌弘、田中正太郎
事務局職員職氏名	岩舟地域づくり推進課長 山野井広実、副主幹 中田与志人 以上2名
その他出席者等	スポーツ連携室長 茂呂一則、室長補佐 小林博己
会議事項	(1) サッカー専用スタジアム整備等の現状について (2) 地域予算提案事業について (3) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◆事務局	1. 開 会
●副会長	2. あいさつ 安藤会長所要により遅れるため、高久副会長によるあいさつ及び進行
◆担当課	3. 議事 (1) サッカー専用スタジアム整備等の現状について 《資料に基づき説明》
●委 員	フットボールとサッカーの違いは何か。使い分けはどのように行っているのか。
◆担当課	基本的に、フットボールとサッカーは同じであり、チームごとに言い方を変えている。例えば、栃木県の場合、宇都宮市を拠点としている栃木SCは「栃木サッカークラブ」、栃木市を拠点とする栃木シティFCは「栃木シティフットボールクラブ」の名称を使用している。
●委 員	資料の中で、「整備に係る手続き等の迅速な対応と支援」とあるが、具体的にどのようなことが考えられるのか。
◆担当課	公園の中に建物を設置するので、申請や許可が必要となることから、申請に基づき迅速に手続を行うなど、正当な手続きの流れの中で迅速な対応を行い、できるだけ早く結論を出すというもの。特別に手続等に対して便宜を図るというものではない。
●委 員	具体的な手続きとして何項目もの手続きがあるのか。

◆担当課	主なものは、建物を建築するための書類や固定資産税の減免申請の書類、そのほか土地の貸借関係についても協議する必要があるので、これらの手続きについて迅速に対応することが主なもの。
●委員	地元説明会の開催について、地元というと小野寺地区というイメージになっているが、岩舟地域全体が期待しているので、広く岩舟地域を対象に説明会を実施することを要望する。
◆担当課	これまで、岩舟地域内の4つのまちづくり実働組織に対して説明を行ってきた。今後は、岩舟地域のみならず近隣の大平地域や藤岡地域の方々にも説明会に来ていただき、栃木市全体で盛り上げていく考えである。
●委員	栃木シティFCの最終目標はJ1を目指しているのか。
◆担当課	基本は、J1を目標としている。
●委員	J1が目標となると、規模や予算など大規模な組織となると思うが、運営する裏付けはあるのか。
◆担当課	現在、栃木シティFCは関東サッカーリーグの一部に属しているが、カテゴリーが上がっていけば、大きなスポンサーからの支援が受けられる。今のままでは財政的に厳しいと思うが、市としては財政面に関する支援は難しいので、ほかの面から支援し育てていきたい。
●委員	支援するための組織として、栃木市だけでなく大規模に組織しないと財政面も含めて経営が成り立たないと思うが、どのように考えているのか。
◆担当課	支援の方法はいくつもあり、ひとつの大企業がバックアップしているところもある。また、多くの人々が出資をしてチームをまとめて支援するところもある。各地域や各チームで支援の方法については、色々な方法を模索しながら決定している。市としても、市民スポーツ応援団や後援会、ファンクラブが組織されているので、これらを拡大していく方向である。
●委員	説明資料の中に固定資産税の免除措置とあるが、ガンバ大阪のように民設したものを市に寄付して民営を行うことを考えているのか。
◆担当課	施設を市に寄付することはありません。栃木市はチームに対して補助金や支援金を支出できないので、固定資産税の免除という形で支援をする考えである。
●副会長	遊楽々館を選手たちが食事等で利用しており、ほとんどの選手は玄関まで徒歩で来館しているが、数人の選手はクルマを乗り付けている。本来は駐車場から徒歩で来館することになっており、社会人としてこの行動はどうかと思う。
◆担当課	遊楽々館のスタッフには選手が使用することや誤った行動をとった場合には注意していただくよう話をしている。また、チームスタッフへも選手は模範となる行動や地元になじむ行動をしていただきたいとお願いしている。今聞いた話はチームに伝えて改善していただく。
●委員	チーム事務所の近くに交差点があり赤信号にもかかわらず、選手が横断する姿を見かける。みんなの模範となる行動をとってほしい。
◆担当課	合わせて、チームスタッフに伝える。
●委員	小野寺南小学校の休日ボランティアを行っており、来年の2月8日に栃木シティFCの練習場を会場に選手等の協力を得て、サッカー教室の開催を予定している。地元を盛り上げ、ファンを増やすことにもなるので協力をお願いする。

	(2) 地域予算提案事業について
◆事務局	《資料に基づき説明》
●委員	提出漏れがあったので、追加していただきたい。追加の提案事業は「文化会館で秒速5センチメートルを上映する」を追加していただきたい。
●副会長	事務局から説明のあった小野寺北小学校関連の事業は、今回は一切提案事業として検討しないのか。
◆事務局	小野寺北小学校については、利活用が未定であり今後どのように活用されるかわからない中で、事業を提案しても事業を実施できない可能性がある。また、事業を実施しても利活用によっては、実施した事業の成果物を取り壊すことになる可能性もあるので、今回提案された事業については、採用することは難しいと考えている。
●副会長	資料の中の番号では、1、20、27、29、33、38の小野寺北小学校に関連する事業について、不採用ではなく今後の動きを見て長い目で見るということではないか。
◆事務局	令和3年度実施の事業提案には難しいということである。
●副会長	これらを提案された方々は、小野寺北小学校の利活用が決まり次第、今後も提案していただきたい。
●会長	栃木シティFCは、栃木市内であればどこにスタジアムを建設しても良いという考えなのか、栃木市が岩舟地域に建設を希望しているのかがわからない。当事者である栃木シティFCの熱意が伝わってこない。地元で騒いでいるだけなのか。早く結論を出してほしい。
◆事務局	昨年12月に市に対して、栃木ウーヴァ（現栃木シティFC）からスタジアム建設の協力を求める要望書が提出された。これに対して、市は建設可能な場所として岩舟総合運動公園と大平地域の運動公園の2ヶ所を候補地として選定し、栃木市は第1候補地として岩舟総合運動公園を推薦した。栃木市としては最終的な回答はしていないが、栃木シティFCが岩舟総合運動公園の地盤調査を行いスタジアム建設には問題ないという地盤調査結果となった。今後、この結果に対して栃木シティFCが判断し、正式に栃木シティFCが建設を決定した場合、図面やパース図の作成に入り、説明会等を実施することになる。
●会長	栃木シティFCによる小野寺北小学校の跡地利用については何も決まっていないのか。
◆事務局	何も決まっていない。要望書の中にはサッカー専門学校の開設等の要望もあったが、小野寺北小学校を使用するかどうかについては、栃木シティFCが今後決めることになる。
●委員	(3) その他 遊楽々館の裏にグランドゴルフ場があり、利用者が遊楽々館に行くときに、法面を降りて向かう方が多く、法面を下る際に滑ってケガをした方がいたと聞いた。法面への階段設置の要望があり今後の検討課題としていただきたい。
◆事務局	ご意見については、担当部署に伝えて担当部署の考えを後日報告する。
	4. 連絡事項
	5. 閉会